



2018-World Supersport Championship  
ワールドスーパースポーツ R1 オーストリア フィリップアイランド 2.25  
予選-12 番手。決勝-14 位。

World Supersport Championship (ワールドスーパースポーツ(WSS)、参戦3年目となる大久保光は、今季、大きな決断をしました。ホンダでレースを続けて来ましたが、優勝、世界チャンピオンを目指しカワサキ・プセッティへの移籍を決めたことを報告させていただきます。カワサキのオフィシャルチームで挑めることは、大久保の狙う、勝利、同クラスで初の日本人チャンピオン獲得、更にスーパーバイクへの昇格と、大きな夢への一步を踏み出すことでもあります。

大久保は、2月にイタリアのレージョネレミアで行われた体制発表に出席、チームメイトの、過去5度も WSS チャンピオンに輝いたケナン・ソフォーグルと壇上に立ちました。開幕前には、スペイン、ポルトガル、オーストラリアのテストに参加し準備を整えて来ました。今季、大久保は日本人唯一のライダーとして WSS に挑みます。

開幕戦は、オーストラリア、フィリップアイランドからスタート。大久保は予選 12 番手から決勝に挑み、レースは序盤に多重クラッシュがあり、赤旗中断。残り9周でレース再会されましたが、そのクラッシュとは別の場所で大久保は、もらい事故で転倒してしまいます。マシンが修復されていない状況でコースインしたことから、思うように走ることは困難な状況でしたが、完走を果たし、オーストラリアで初のポイントを獲得することが出来ました。

#### 大久保光

「チャンピオンチームとしての実績があるチームで走れることを、とても光栄に思っています。それと同時に、求められるものも大きくなる責任も感じています。スペイン、ヘレスが初乗りでしたが、このコースでは違和感なく乗れたと思ったのですが、ポルトガル、ポルティモアでは、コース事態の難しさもありますが、合わせ込むことが簡単ではなく、更なる努力が必要だと思いました。今は、とにかく、乗り込んで、これまでのマシンに合わせたライディングを、カワサキにシフトし、しっかりとポテンシャルを引き出せるようにトライを重ねて行かなければと思っています。ですが、このオフのテストを通して、チームと信頼関係を築けたと感じられたことは、大きな前進でした。

開幕戦では、トラブルでスローダウンしたバイクを避けようとしたライダーに引っかけられ転倒してしまいました。再スタートしましたが、真っ直ぐにバイクが走らない状態で辛いレースになりましたが、絶対にチェッカーを受けたいと懸命に走りました。走り切ることが出来てポイントが取れたことを嬉しく思っています。何故なら、過去2回のオーストラリアではノーポイントで、ケガをしてしまうという最悪のスタートだったので、何事もなく開幕戦を終えることが出来たことで気持ち的にはとても前向きです。これまでとは違うシーズンになる、絶対にしたいと思っています。いい報告が出来るように精一杯に挑んでいきます」

※第2戦はタイで3月25日開催されます。

◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1\_hikari@yahoo.co.jp 大久保 光]



株式会社 隆誠社